

重粒子線治療の助成制度を創設



概要

大阪国際がんセンターの隣接地に最先端がん治療施設「大阪重粒子線センター」(大阪市中心部)が3月にオープンしました。重粒子線がん治療は、限局性の固形のがん治療に適しており、がんの近くにある正常な重要臓器への照射を避けることができる治療法です。

大阪府は、当センターの開院にあわせて、公的医療保険の適用とならない重粒子線がん治療の費用負担を軽減するため、府と連携する金融機関の専用ローンを利用し、治療費を借り入れた利子分を負担する事業を創設しました。

取り組み

公明党府議団はこの治療法に以前から着目しており、府議会の質疑の中で重粒子線治療施設の早期開設を迫り、府から前向きな答弁を得ていました。

また、2017年9月定例会の代表質問で大橋章夫政調会長(枚方市選出)は患者の負担軽減策の創設を提唱していました。